

SDGsを目指す農林水産業の未来のために

近畿大学アグリ技術革新研究所

第 42 回オープンセミナー

2025年10月31日（金）

311教室

16:20～17:50

講師 福山 隆 博士

学校法人北里研究所

北里大学メディカルセンター研究部室長補佐

入場無料
申込不要

「Negative」が新たな価値を生み出す

Dig the One Target and Expand the Opportunities

演者はがんに対する免疫療法の研究の中で、約20年前の博士課程時代に癌/精巢抗原Kita-Kyushu Lung Cancer Antigen-1 (KK-LC-1)を発見し、現在もなお、この“One target”を深く掘り下げ続けている。

KK-LC-1はがんワクチン療法の標的探索の過程において2004年に発見された。時同じくして、がんワクチンを含むがん免疫療法の奏効率（がんが縮小した治療患者の割合）は2%程度、すなわち「効かない」と超一流雑誌に報告された。この時点で、発表者が発見したKK-LC-1の社会実装化（がんワクチンとしての医療応用）が困難である、いわゆる「詰んだ」状態に直面した。

そのような「Negativeな状況下」においても、その後20年以上にわたり同抗原の研究を続けることができ、その結果、当初とは異なる形で社会実装に至った。本講演では、今に至るまでの経験談について、がん免疫というフィールドの歴史と重ねて紹介したい。

世話人 | 福田 隆志（近畿大学アグリ技術革新研究所 教授）

お問い合わせ | fukudata@nara.kindai.ac.jp